

## ●池田町の情報政策を問う

行財政改革を言うなら行政の効率化を進めるべき！

## ●池田町の地域福祉について

元気で長生き！地域包括支援センターの積極的PRを！

倉地幸子  
議員

### 池田町の情報化政策について

**Q** 国も県も行政の効率化と情報公開推進のため、積極的に紙からデータベースへの移行が進んでいる。県内の市ではホームページで例規集を見ることもできる。池田町が情報先進地というなら、他町に先駆けて誰でもいつでも、例規集が見られるように公開すべきではないか？

**A** データベース化していない。予算的にも他にも課題があり慎重に対応したい。

**Q** 情報化ランキングで池田町は全国2091の自治体で455位。ホームページから各種申請ができるようなシステムはできないのか。

**A** 専門的な職員も必要。職員自ら研究し努力したい。



例規集：高さ13センチ 重さ3.3キロ（ペットボトル3本分）町のあらゆる決め事がびっしり詰まっている。

### 地域包括支援センターの取り組みについて

**Q** 介護保険制度の改革により、地域包括支援センターが介護予防に組みと聞いている。その後の取り組みは。

**A** 今年の4月に揖斐広域連合から委託を受け設置した。町内の保健師、社会福祉士、ケアマネージャーが中心となり介護予防事業や高齢者やその家族の相談事業を行っている。



地域包括支援センターがある福祉センター

### 1町の業務になった地域支援事業

**Q** 10月からは県がやっていた「地域支援事業」を市町村がやる。そこには知的・精神の障害を持つ人たちの支援事業も含まれるが町として対応できるのか。

**A** 専門職員を雇うことは無理なので専門家と対応を話し合っていく。



いきいきサロンでも「介護予防」を学習中…

### 老人クラブの加入年齢について

**Q** 65歳までは現役で働くよう、雇用の法律が変わってきた。65歳からの加入にはどうか。

**A** 老人クラブ本部では60歳からが原則。制度を変えるのは難しいが、今後の課題として発言していきたい。